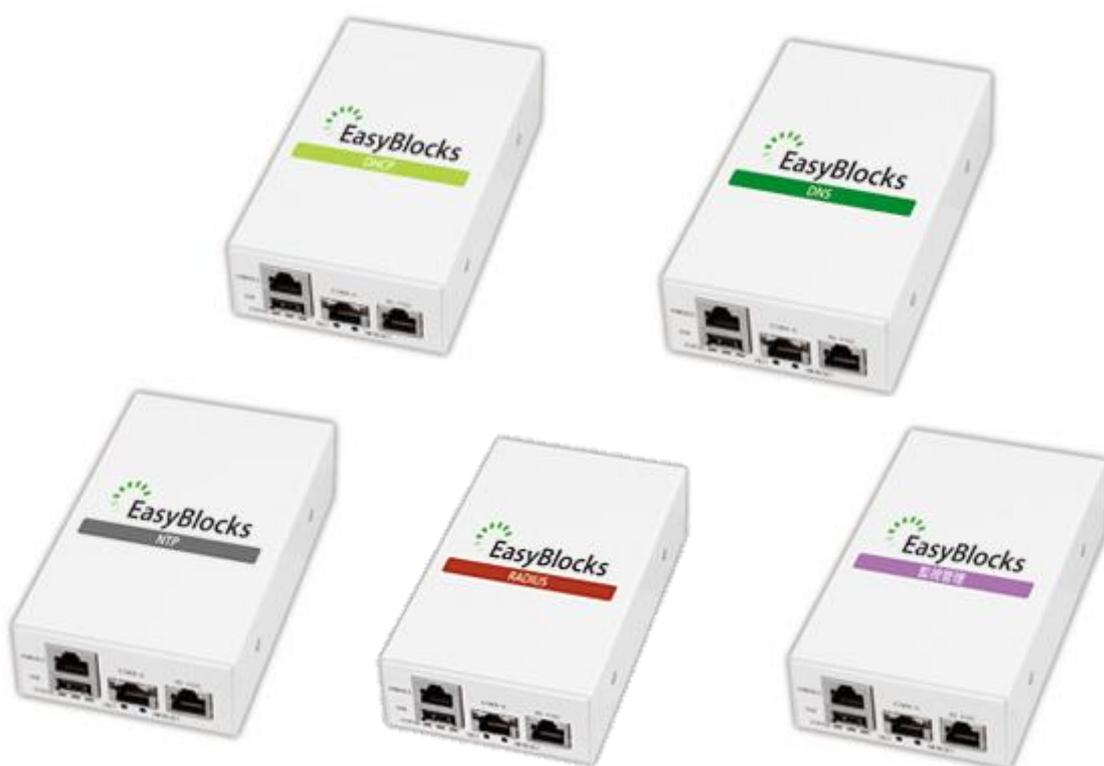


EasyBlocks 単機能型 ユーザーズガイド



対象モデル

EBA6/DHCP, EBA6/DNS, EBA6/NTP, EBA6/RADIUS, EBA6/KANSHI

Ver1.4.4

ぷらっとホーム株式会社

■ 商標について

- ・ その他記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。
- ・ Microsoft は、Microsoft Corporation の商標です。
- ・ Microsoft, MS-DOS, Windows, Windows NT, Microsoft Internet Explorer は、米国 Microsoft Corp. の米国およびその他の国における商標または、登録商標です。
- ・ Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。

■ 重要なお知らせ

本書の内容の一部または全部を、無断で転載することをご遠慮ください。

本書の内容は予告なしに変更することがあります。

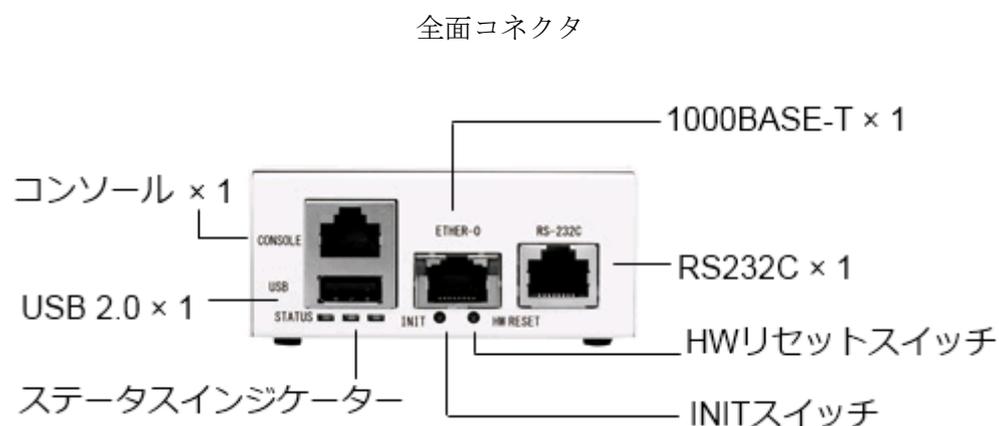
本書の内容については、正確を期するように努めていますが、誤り等に起因する結果について責任を負いかねます。

目次

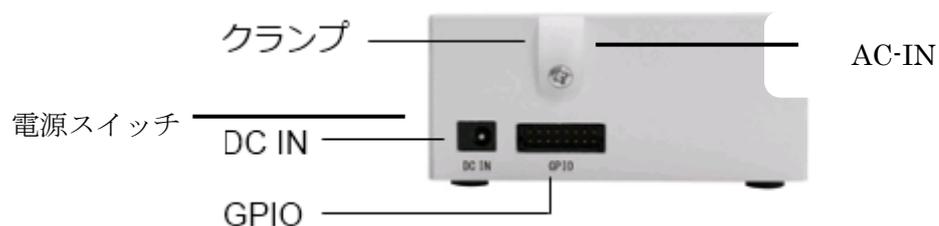
第1章 はじめに	4
1-1. 各部の名称	4
1-2. 出荷時設定情報	5
1- 3. 用語解説	6
第2章 設置・初期設定	7
2-1. 設置・設定のステップ	7
2-2. 設置方法	7
2-3. 管理インタフェースへの接続	8
2-4. 初期設定	8
第3章 管理インタフェース	12
4-1. システム	13
4-2. ネットワーク	17
4-3. メンテナンス	20
第5章 DNS サービスの設定	22
第6章 DHCP サービスの設定	28
第7章 NTP サービスの設定	33
第10章 監視管理サービスの設定	34
第11章 RADIUS サービスの設定	38
第11章 その他利用方法	42
11-1. SSH でログイン	42
11-2. シリアルコンソールでログイン	42

第1章 はじめに

1-1. 各部の名称



■ 背面コネクタ



◆ ステータスインジケータの点灯について

停止中：

全て消灯しています

稼働中：

黄→緑→赤→緑→黄・・・のように、上下に点灯・消灯を繰り返します
負荷が高くなるにつれて、3段階で速度が変化します

停止後(シャットダウン処理後)：

黄・緑・赤の3色が、全て同時に点滅を繰り返します

1-2. 出荷時設定情報

■ IP アドレス

Ether-0	IP アドレス :	192.168.253.254
	ネットマスク :	255.255.255.0

■ WEB I/F のアドレス

Ether-0 : http://192.168.253.254:880/

■ WEB I/F の管理者ユーザー

初回アクセス時に、ご自身で設定していただきます。

■ シリアルコンソール/SSH 用 管理者ユーザー

シリアルコンソールや SSH でのアクセスをしなくとも運用管理は可能ですが、必要な場合は以下 ID・パスワードを使用してください。なおパスワードは WEB I/F から変更が可能です。

ID :	root
パスワード :	root

1-3. 用語解説

- ✓ EasyBlocks システム
データ同期、ノードの追加削除などの基盤機能の総称

- ✓ 管理インタフェース
EasyBlockS システム及び各種サービスを設定するための WEB I/F

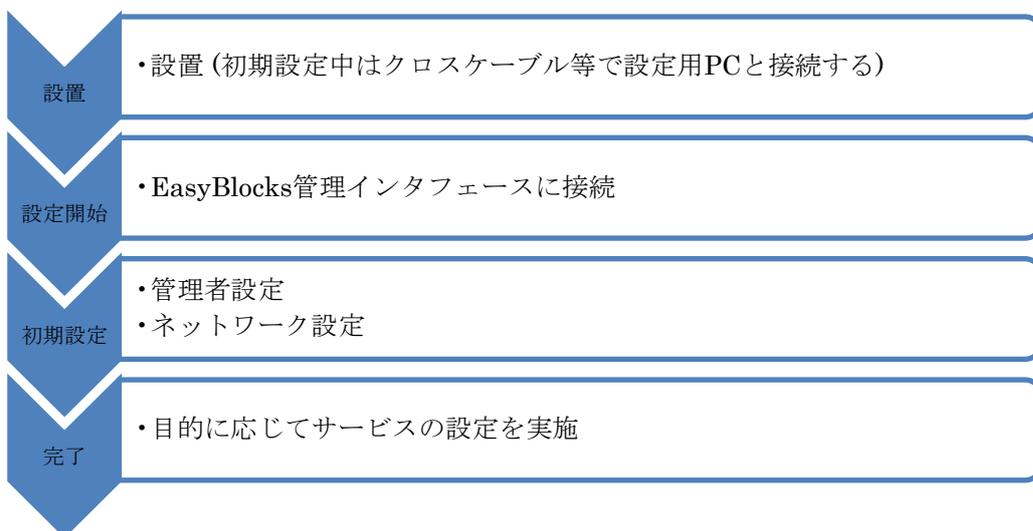
- ✓ サービスネットワーク (既存 LAN)
クライアント向けに、DNS や DHCP 等の各種機能をサービスするためのネットワーク
単にネットワークと記述した場合は、サービスネットワークのことを指している
(Ether-0、Ether-1、Ether-2 ポート)

- ✓ XXX サービス
XXX には、DNS、DHCP、NTP、RADIUS、監視管理が入る

- ✓ EasyBlocks ノード
EasyBlocks システムを構成する機器単体の呼称

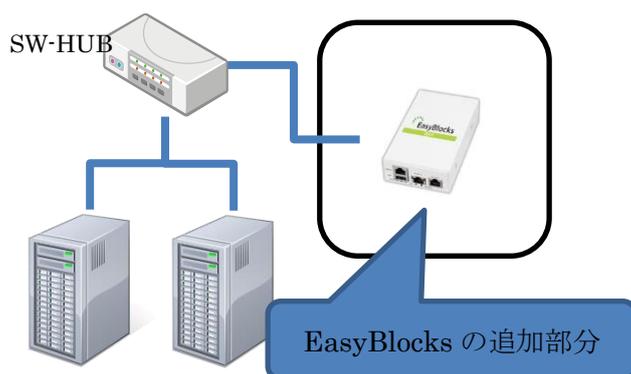
第2章 設置・初期設定

2-1. 設置・設定のステップ



2-2. 設置方法

Ether-0 を既存 LAN 環境に接続します。ただし、初期設定中は、クロスケーブル等で設定用 PC と接続してください。



2-3. 管理インタフェースへの接続

Ether-0 に対して、設定用の PC を接続してください。1-2. 出荷時設定情報に記載の通り、次の URL で管理インタフェースを表示することが可能です。この時は、クロスケーブル等で設定用 PC と 1 対 1 で接続して下さい。

Ether-0 : http://192.168.253.254:880/

2-4. 初期設定

管理インタフェースを表示すると、初期設定画面が表示されます。



使用許諾契約書に同意することで、設定項目が表示されます。

EasyBlocks
初期設定

使用許諾契約書の確認

使用許諾契約書 同意する 同意しない

管理者アカウント

ユーザー名

パスワード

パスワード(確認)

メールアドレス

サポートデスク

アカウント パスワード

操作

ユーザー名 :	管理インタフェースへのログインに使用します アルファベット(A-Z,a-z)及び数字が使用できます
パスワード :	同用途のパスワードです
パスワード(確認) :	//
メールアドレス :	メール通知を使用する場合の通知先です(必要な場合のみ)
サポートデスク :	サポートデスク加入者に発行されるアカウント アップデートは、このアカウントが有効な場合のみダウンロード可

これらを設定後、保存することで次の画面に進みます。

EasyBlocks 技術情報を検索 (キーワード) 検索 ID: admin (権限: 全特) でログイン

ダッシュボード サービス システム ネットワーク メンテナンス 技術情報

初期セットアップ中です。ネットワーク設定を完了させ、再起動してください。

基本 詳細 タグVLAN ルーティング ルール連携

サービスネットワーク (2)

選択したI/FやDNS等のネットワーク設定は、各種サービスで共通の内容として利用します。

I/Fの選択 (2) Ether-0

ホスト名 (2) easyblocks

ドメイン名 (2) example.org

IPアドレス (192 . (168 . (253 . (254 / (24 (2)

デフォルトゲートウェイ (2)

DNSサーバー1

DNSサーバー2

DNSサーバー3

操作

保存

I/F の選択 :	サービスネットワークに使用する I/F を選択します Ether-0 またはタグ VLAN タブで設定する I/F が選べます
ホスト名 :	EasyBlocks に割り当てるホスト名
ドメイン名 :	EasyBlocks に割り当てるドメイン名
IP アドレス :	サービスネットワークに参加する際の IP アドレス 「/」以降の項目には、ネットマスクをビット表記で入力します。一般的な 255.255.255.0 であれば「24」となります。 ※管理インタフェースを、サービスネットワークから接続する場合や、オンラインアップデートに使用します。
デフォルトゲートウェイ :	ルーターや L3SW 等、サービスネットワークのゲートウェイアドレス
DNS サーバー :	サービスネットワークで使用している既存の DNS サーバー

これらを設定後、保存することで画面上に再起動の案内が表示されます。
リンクをクリックすることで、再起動画面に移動します。



再起動の実行ボタンをクリックすることで、再起動が可能です。

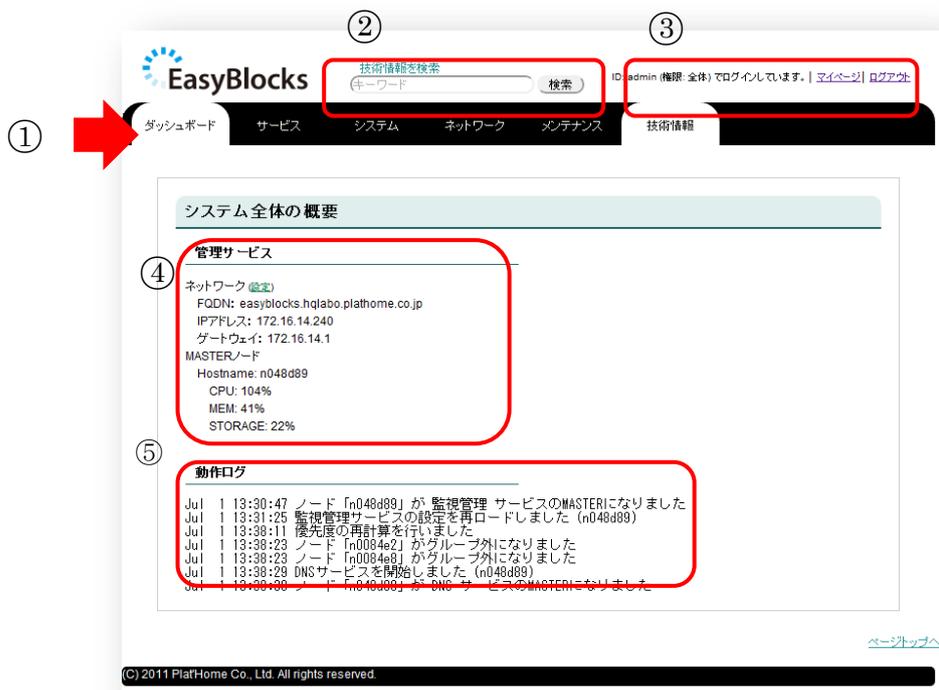


再起動が完了すると、上記画面に移動します。
以降は目的に応じて、サービスの設定を実施してください。

第3章 管理インターフェース

管理インターフェースの基本的な画面構造について解説します。

■ ダッシュボード



① メニュータブ

白抜きの部分が表示中の項目です

ダッシュボード：システム全体の概要を表示します

サービス：DNSやDHCP等のモデル別の設定画面

システム：冗長化の動き、管理者ユーザーの設定等

ネットワーク：管理サービスのネットワーク設定

メンテナンス：アップデートや再起動等

② 当社技術情報サイトの検索

操作中のPCがインターネットに接続している必要があります

Google社検索ページが表示されます

③ ログイン中の管理者を表示

④ 本装置の状態を表示

⑤ 動作中の最新ログを表示

第4章 管理サービスの設定

4-1. システム

■ 基本



◆メール通知

通知を行う :	フェイルオーバー時にメール通知を行うかどうか
SMTP サーバー :	3 台まで設定可能
SMTP Auth :	SMTP サーバーに対応するアカウント情報を入力
送信元メールアドレス :	通知時の送信元に指定するアドレス
SMTP サーバーの外部公開 :	管理サービスの IP アドレス(ポート 25 番)で、リレー専用の SMTP サーバーとして利用できます

※ 送信先アドレスは、管理者ユーザーのなかでメールアドレス設定があるアカウントすべてです

◆Syslog 通知

通知を行う :	フェイルオーバー時に Syslog 通知を行うかどうか
Syslog サーバー :	3 台まで設定可能
ファシリティ :	LOCAL0~LOCAL7 の中から選択

◆時刻設定

タイムゾーン :	設置場所のタイムゾーン又は UTC を選択出来ます
PC と時刻を同期 :	操作用 PC の時刻情報を装置におくり反映させます
NTP サーバー :	3 台まで設定可能 指定した NTP サーバーの他、管理サービスのマスターノードのハードウェアクロック (RTC)の時刻を配信します

■ 詳細

The screenshot shows the 'EasyBlocks' configuration interface. It has tabs for '基本' (Basic), '詳細' (Details), 'OSユーザー' (OS User), 'WEB管理者' (WEB Admin), 'マイページ' (My Page), and 'EasyBlocks'. The '詳細' tab is active. The settings are organized into sections: 'メール通知' (Email Notification) with a toggle for '通知を行う' (Send notifications) set to 'はい' (Yes); 'Syslog通知' (Syslog Notification) with a toggle for '通知を行う' (Send notifications) set to 'はい' (Yes), and fields for 'Syslogサーバー' (172.16.14.10), 'ポート' (2), and 'ファンクティ' (local3); '時刻設定' (Time Setting) with a dropdown for 'タイムゾーン' (Asia/Tokyo) and a 'PCと時刻同期' (Sync with PC) button; and 'NTPサーバー' (NTP Servers) with three entries: 'ntpサーバー1' (172.16.2.10), 'ntpサーバー2' (172.16.2.6), and 'ntpサーバー3' (empty). A '操作' (Action) section at the bottom contains a '保存' (Save) button.

◆ リモート管理

SSH :	サービスネットワークからの SSH を許可します
-------	--------------------------

◆ リソース管理

SNMP :	SNMP によるリソース情報の参照に応答します
SNMP Trap :	ネットワークインタフェースのリンクアップ・ダウンを通知します 検知は 60 秒間隔で行われます
SNMP Community :	SNMP 及び SNMP Trap のコミュニティを設定します
SNMP Trap 送信先 :	SNMP Trap の送信先を指定します

◆ リポジトリ情報

OS 基本部分 :	ベース OS として利用している Debian のリポジトリを指定
セキュリティアップデート :	ベース OS のセキュリティアップデート
EasyBlocks システム :	EasyBlocks 関連のリポジトリを指定
サポートデスクアカウント :	サポートデスク加入者向けに発行されるアカウント アカウントが有効な場合のみ、アップデートのダウンロード可

■ OS ユーザー

ユーザー名 :	SSH 等、OS に直接ログインする場合のユーザーアカウントです
パスワード :	同上
管理者グループ :	所属に設定することで、「sudo -s」で root ユーザーになれます

■ WEB 管理者

ユーザー名 :	管理インターフェースのためのユーザーアカウントです
パスワード :	同上
メールアドレス :	フェイルオーバー時に通知、監視管理サービスの宛先に利用します
権限 :	すべての設定変更が可能な「全権」、サービス限定で変更が可能な「サービス限定」、参照のみかのような「参照のみ」、専用の管理画面を用意した「エンドユーザ管理者」があります。 「全権」以外では、対象のサービスを選択する画面が追加表示されます。

■ マイページ



ユーザー名 :	ログイン中のアカウントの登録情報を編集するため、ユーザー名は変更できません
パスワード	変更する場合のみ入力してください
メールアドレス :	指定が必要な場合に入力してください

■ EasyBlocks



バージョン及び使用許諾/ライセンスを表示する

4-2. ネットワーク

■ 基本

I/F の選択 :	サービスネットワークに使用する I/F を選択します Ether-0 またはタグ VLAN タブで設定する I/F が選べます
ホスト名 :	EasyBlocks に割り当てるホスト名
ドメイン名 :	EasyBlocks に割り当てるドメイン名
IP アドレス :	サービスネットワークに参加する際の IP アドレス 「/」以降の項目には、ネットマスクをビット表記で入力します。一般的な 255.255.255.0 であれば「24」となります。 ※管理インタフェースを、サービスネットワークから接続する場合や、オンラインアップデートに使用します。
デフォルトゲートウェイ :	ルーターや L3SW 等、サービスネットワークのゲートウェイアドレス
DNS サーバー :	サービスネットワークで使用している既存の DNS サーバー

■ 詳細

◆Proxy サーバー

アドレス:ポート :	必要な場合に、アドレスとポート番号を入力してください
BASIC 認証 :	必要な場合に、ユーザーID・パスワードを入力してください

■ タグ VLAN

物理 I/F :	Ether-0 に固定になっています
VLAN ID :	1~4094 までの ID を入力します

■ ルーティング

ネットワークアドレス：	宛先のネットワークアドレス、ネットマスクを入力します
ゲートウェイ：	利用するゲートウェイのアドレスを入力します

■ ルーター連携

YAMAHA 社 RTX シリーズの設定を、画面上で取得・編集・反映が可能です
 利用時は、あらかじめ「tftp host any」などで tftp アクセスを許可してください

接続先ホスト：	RTX の IP アドレス
管理者パスワード：	管理者パスワード(administrator コマンドで入力するもの)

4-3. メンテナンス

■ 設定



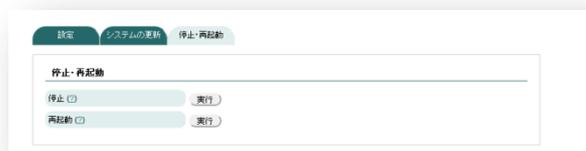
エクスポート :	EasyBlocks 全体の設定をエクスポート
インポート :	// をインポート
設定の初期化 :	実行により、次回起動時に初期状態で起動します

■ システムの更新



定時にアップデートチェック :	指定した時間に更新の有無をチェックします アップデートがある場合は、メールにて通知します 「アップデートを自動的に適用する」が有効な場合、更新も指定時間に実行します。
今すぐアップデート :	アップデートのチェックと実行を行います。アップデート実行後は、順次再起動が行われます。
オフラインアップデート :	オフラインアップデート用のファイルを送付することで、インターネット接続がなくてもアップデートを実行します。実行に当たっては、再起動が実施されます。

■ 停止・再起動



停止：	全ノード(システム全体)を停止します
再起動：	〃を再起動します

■ サポート



問い合わせ先：	弊社サポートの連絡先を記載しております。
ログ・環境情報取得：	不具合等の問い合わせ時には、こちらでダウンロードした情報をお送り下さい。状況確認の参考にさせていただきます。ダウンロードできるデータは、tar + gzip 形式でありご自身で内容をご確認いただくことも可能です。

第5章 DNS サービスの設定

■ サービス



◆ サービスについて

起動 :	起動するかどうか
設定を直接編集する :	WEB I/F での設定項目では不足の場合など、設定を直接編集したい場合に設定
プロセス操作 :	再起動または設定のリロード

■ 基本

◆ フォワード

利用方法：	コンテンツサーバ、キャッシュサーバ、コンテンツ兼キャッシュサーバから用途を選択
再起問い合わせ：	フォワードを行う場合には、必要になります キャッシュサーバとして使用する場合は、自動的に有効が選択されます。
ルートヒントファイル：	上位 DNS を使用せずに、インターネット上のドメインの名前解決をする場合には必要になります
DNS サーバー：	フォワード先の DNS サーバー

◆ アクセス制御

クエリー送信元：	すべて、所属ネットワークのみ、指定が選択可能
再帰クエリー送信元：	同上
キャッシュアクセス：	同上

■ ゾーン

◆ ゾーン設定

ゾーンのタイプ :	マスター、スレーブ、フォワードが選択可能
ドメイン名 :	ドメイン名を入力
ネットワークアドレス :	対応するネットワークアドレスを入力
ネットマスク :	対応するネットワークアドレスのネットマスクを入力
登録するレコード :	正引き/逆引き、正引きのみが選択可能 正引き/逆引きでは、正引きの内容から逆引き設定を自動生成します
逆引き表現 :	/24 よりも小さなネットワークにおける、様々な記述方法を選択することができます 選択候補にない場合は、次のようなフォーマットで定義可能です 表記例) %4/%m.%3.%2.%1.in-addr.arpa. %1 - ネットワークアドレスの 1 番目の数字。%2、%3、%4 に続く。 %m - ネットマスクのビット表記 %b - アドレスレンジの最初、%e - アドレスレンジの最後

■ レコード

The screenshot shows a web interface for DNS management. At the top, there are tabs for 'サービス', '基本', 'ゾーン', 'レコード', and 'メンテナンス'. The 'レコード' tab is active. Below the tabs, there's a section for '対象ドメインの選択' (Select target domain) with a dropdown menu showing 'example.org'. This is followed by 'SOA設定' (SOA Settings) with fields for:

- DNSサーバーのホスト名 (DNS server host name): easyblocks.hqlabo.plathome.co.jp
- 管理者のメールアドレス (Admin email address): domainmaster@hqlabo.plathome.co.jp
- TTL (キャッシュ有効期間) (TTL (Cache validity period)): 60400
- Refresh (更新間隔) (Refresh (Update interval)): 3600
- Retry (リトライ間隔) (Retry (Retry interval)): 600
- Expire (レコードの有効期間) (Expire (Record validity period)): 604800
- Minimum (ネガティブキャッシュの有効期間) (Minimum (Negative cache validity period)): 60400

 There's a 'SOAレコードを保存' (Save SOA record) button. Below that is 'レコード設定' (Record Settings) with fields for:

- 名前 (Name):
- 種別 (Type): A (IPv4アドレス) (Selected)
- 値 (Value):

 A 'レコードを一覧' (View records) button is also present. At the bottom, a table shows existing records:

名前	種別	値	操作
easyblocks	NS	easyblocks.hqlabo.plathome	編集 / 削除
	A	12.34.56.78	編集 / 削除

◆ 対象ドメインの選択

選択 :	ゾーン画面で設定したドメインを選択できます 選択することで、下部の SOA レコードなどの情報が表示されます
------	---

◆ SOA レコード

DNS サーバーのホスト名 :	DNS サービスに指定した IP アドレスに対応するホスト名をドメインを含めて(FQDN)で記入します
管理者のメールアドレス :	同ドメインの管理者メールアドレス
TTL :	キャッシュの有効期間
Refresh :	更新間隔
Retry :	リトライ間隔
Expire :	レコードの有効期間
Minimum :	ネガティブキャッシュの有効期間

◆ レコード設定

名前 :	各レコードに指定する名前(A レコードにおけるホスト名など)
種別 :	A/CNAME/MX/NS レコードを選択可能
値 :	各レコードに指定する値(A レコードにおける IP アドレスなど)

■ 設定編集 (サービスタブで直接編集を有効にしたときだけ表示)

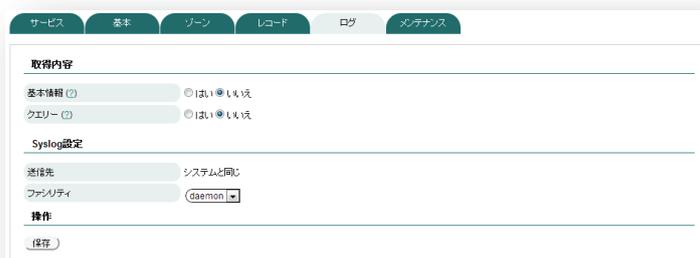


◆ ファイルの選択

WEB I/F で作成した設定をコピー :	直接編集時のひな形として、WEB I/F で作成した内容をコピー
候補 :	編集するファイルを選択または新規作成
設定の検証 :	設定の検証ツールが存在する場合に表示

■ ログ

システム設定で Syslog 通知が有効な場合にのみ利用出来ます。



基本情報 :	起動・終了などの基本的な情報
クエリー :	受け付けたクエリー送信元、問い合わせ内容等
送信先 :	システム設定と同じ値を利用します (個別設定不可)
ファシリティ :	ログ出力時のファシリティ

■ メンテナンス

The screenshot shows a navigation bar with tabs for 'サービス' (Service), '基本' (Basic), 'ゾーン' (Zone), 'レコード' (Record), and 'メンテナンス' (Maintenance). The 'メンテナンス' tab is active. Below the navigation bar, there is a 'メンテナンス' section with two main options: 'エクスポート' (Export) and 'インポート' (Import). The 'エクスポート' option has an '実行' (Execute) button. The 'インポート' option has a 'ファイルを選択' (Select File) button, a message '選択されていません' (None selected), and an '実行' (Execute) button.

エクスポート :	DNS の設定のみをエクスポートします
インポート :	DNS の設定のみをインポートします

第6章 DHCP サービスの設定

■ サービス



◆ サービスについて

起動：	起動するかどうか
動作モード：	サーバー または リレーエージェントを選択可能
設定を直接編集する：	WEB I/F での設定項目では不足の場合など、設定を直接編集したい場合に設定
プロセス操作：	設定のリロード

■ 基本 (サーバー)

割り当て前 Ping チェック :	IP 割り当て前に、アドレスが使用されていないかをチェック
IP 配津 :	有効にすることで設定項目が表示されます
ネットワーク設定を反映 :	Ether-0 のネットワーク設定を読み込み、反映します
範囲 :	サブネット内での配布範囲を設定できます(3 つまで)
ネットワークマスク :	同左
ドメインネーム :	同左
デフォルトゲートウェイ :	同左
DNS サーバー :	同左
標準リース時間 :	同左
最大リース時間 :	同左
WINS サーバー :	同左
WPAD URL :	Proxy の自動設定ファイルの URL

■ ホストリスト

候補：	<p>ホストリストを選択します</p> <p>新規作成を選ぶと、リストの名称入力欄が表示されます</p> <p>※リスト分けは、管理の利便性を考えてのものであり、リスト毎のルール変更などの使い分けはありません。</p>
編集：	<p>リストの内容をテキストで入力します。</p> <p>MS Excel 等の表計算ソフトからのコピー＆ペーストも可</p> <p>すべて半角英数字で、次の内容を左から CVS 形式で記述してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MAC アドレス ・ホスト名(識別用・重複不可) ・IP アドレス(固定割り当ての場合・複数可) <p>例)</p> <p>00:01:02:03:04:00</p> <p>00:01:02:03:04:01, host01</p> <p>00:01:02:03:04:02, host02, 192.168.0.2</p> <p>00:01:02:03:04:03, host02, 192.168.0.3, 172.16.0.3</p>

■ サブネット(サーバー)

設定項目は、基本のタブと同様

■ 基本(リレーエージェント)

リレーインタフェース :	Ether-0 が選択可能
リレー先 DHCP サーバー :	上位の DHCP サーバーを指定

■ ログ

システム設定で Syslog 通知が有効な場合にのみ利用出来ます。

取得内容

基本情報 はい いいえ

Syslog設定

送信先 システムと同じ

ファシリティ daemon

操作

保存

基本情報：	起動・終了などの基本的な情報
送信先：	システム設定と同じもの利用します（個別設定不可）
ファシリティ：	ログ出力時のファシリティ

メンテナンス・設定編集については、DNS サービスの章を参照ください。内容は同様です。

第7章 NTP サービスの設定

■ サービス



◆ サービスについて

起動 :	起動するかどうか
プロセス操作 :	再起動または設定のリロード

■ 基本



◆ 時刻設定

NTP サーバー1～3 :	参照する上位 NTP サーバー及びオプションの値(通常オプションは不要)
---------------	--------------------------------------

第 10 章 監視管理サービスの設定

■ サービス



◆ サービスについて

起動 :	起動するかどうか
設定を直接編集する :	WEB I/F での設定項目では不足の場合など、設定を直接編集したい場合に設定
プロセス操作 :	再起動または設定のリロード

■ 基本設定

The screenshot shows the '基本設定' (Basic Settings) page with the following details:

- メール通知 (Email Notification):**
 - 解説 (Description): システムのメール通知設定を利用します。宛先は、監視パターン毎にWEB管理者を選択します。
- Syslog通知 (Syslog Notification):**
 - 解説 (Description): システムのSyslog通知設定を利用します。
 - 通知 (Notification): 有効 無効
 - ファシリティ (Facility): local4
- 操作 (Actions):**
 - 保存 (Save)

Sysog 通知 :	Syslog 通知をする場合に有効にします 通知先の Syslog サーバーは、システムの設定と共通です
ファシリティ :	監視結果のファシリティを LOCAL0~LOCAL7 から選択します

■ 監視対象

The screenshot shows the '監視対象' (Monitoring Target) page with the following details:

- 監視対象 (Monitoring Target):**
 - 名称 (Name): 6桁までのみ入力可
 - ホスト名又はIPアドレス (Host name or IP address): 例) 192.168.0.1
 - 有効 (Enabled): はい いいえ
- 操作 (Actions):**
 - 保存 (Save) / クリア (Clear)
- 一覧 (List):**

有効無効	名称	アドレス	操作
------	----	------	----

名称 :	識別用の名称を入力します
ホスト名又はIPアドレス :	確実に監視を実行するため、IP アドレスでの指定を推奨します
有効 :	一時的に無効にしたい場合は、「いいえ」を選択して下さい

■ 監視パターン

The screenshot shows the '監視パターン' configuration page with the following fields:

- 名称: (00) PING
- 監視対象: [Empty]
- 通知先: admin
- チェック間隔(正常/異常時): (00) 5 分 / (00) 1 分
- 異常時のリトライ回数: (00) 3 回
- 監視コマンド: 選択してください
- 有効: はい いいえ

Buttons: 保存, クリア

名称:	識別用の名称を入力します
監視対象:	監視対象タブで設定した名称がリストされますので、チェックボタンで選択して下さい
通知先:	メールアドレスが設定されている管理者アカウントがリストされますので、チェックボタンで選択して下さい
チェック間隔:	正常時と異常時のチェック間隔を入力します
異常時のリトライ回数:	異常の判定を行うまでのリトライ回数を指定します
監視コマンド:	ICMP Ping や SSH ポートなどから選択します。 ユーザー定義では、nagios 用のコマンドが指定可能です。 指定する場合は、/etc/nagios-plugins/config/以下を参照ください。
有効:	一時的に無効にしたい場合は、「いいえ」を選択して下さい

■ 監視状況一覧

The screenshot shows the '監視状況一覧' page with the following table:

ホスト	サービス	状態	最終アップデート	状態メッセージ	備考
ホ	PING	OK	2011-07-04 09:48:53	00 on 7m 17s	PING OK - Packet loss = 0%, RTT = 0.00 ms
ホ	SSH	OK	2011-07-04 09:48:53	00 on 4m 47s	SSH OK - OpenSSH_5.5 (protocol 2.0)
ホ	PING	OK	2011-07-04 09:50:38	04 on 5m 56s	PING OK - Packet loss = 0%, RTT = 1.13 ms
ホ	SSH	OK	2011-07-04 09:47:38	00 on 3m 20s	SSH OK - OpenSSH_5.5 (protocol 2.0)

監視対象、監視パターン別に結果が表示されます。

■ 通知メール本文

障害発生(WARNING) :	応答時間が長い、パケットロスがあるなどの、異常の兆候を示す際の通知文章を指定します
障害発生(CRITICAL) :	応答が無く、サービスの稼働を確認できない際の通知文章を指定します
復旧 :	障害発生の後、正常応答が確認できた際の通知文章を指定します。

■ SNMP Trap

転送する :	受信した SNMP Trap をメール転送するかどうか
コミュニティ :	受信する SNMP Trap のコミュニティ名
通知先 :	メールアドレスが設定されている管理者アカウントがリストされますので、チェックボタンで選択して下さい
フィルタ :	ホワイトリスト/ブラックリストのいずれかの方式を選び、1行1件でキーワードを指定します。

メンテナンス・設定編集については、DNS サービスの章を参照ください。内容は同様です。

第 11 章 RADIUS サービスの設定

■ サービス



◆ サービスについて

起動 :	起動するかどうか
プロセス操作 :	再起動または設定のリロード

■ 接続機器

名称	Private Enterprise Number	IPアドレス	操作
XXXX	1234	172.16.14.100	編集 / 削除
CISCO_ASA5505	3076	172.16.14.227	編集 / 削除

名称 :	接続する機器の名称
Private Enterprise Number :	IANA に対して、申請・登録されている番号。機器固有のアトリビュートを指定する場合に必要な。マニュアルや機器ベンダーにご確認下さい
共有シークレット :	RADIUS サーバーと接続機器に共通で設定するパスワード
IP アドレス :	接続機器の IP アドレス

■ アトリビュート (必要な場合のみ)

機器	名称(No)	型	操作
XXXX	Group-Policy(100)	string	編集 / 削除
CISCO_ASA5505	BBB(123)	string	編集 / 削除
CISCO_ASA5505	Group-Policy(25)	string	編集 / 削除

機器選択 :	予め登録した接続機器の候補から選択します
名称 :	アトリビュートの名称 (接続機器の指定を確認すること)
No. :	アトリビュートの番号 (接続機器の指定を確認すること)
型 :	アトリビュートの型 (接続機器の指定を確認すること)
デフォルト値 :	空指定時のデフォルト値

■ アカウント(個別登録)

名前 :	アカウントの名称
パスワード :	アカウントのパスワード (編集時は、変更するときのみ入力)
アトリビュート :	必要な場合は、予め登録したアトリビュートを選択し、値を入力する。値が空の場合は、アトリビュートのデフォルト値が利用される。
有効 :	有効な場合は「はい」を指定する

■ アカウント(CSV一括編集)

取得 :	登録済みアカウントの CSV をダウンロードします
登録 :	指定した CSV でアカウントを登録します 登録済みのアカウントは一旦全て削除されます CSV は「,」区切りにして下さい

■ ログ表示



取得:	マスターノードから最新のログを取得します
選択:	選択したログを表示します
ダウンロード:	選択中のログをダウンロードします

■ E/U 向け情報



エンドユーザ管理者向けの専用管理画面の URL を表示しています

■ エンドユーザ管理者用の管理画面



メニューがアカウント/アトリビュート/ログに限定されます。

メンテナンスについては、DNS サービスの章を参照ください。内容は同様です。

第 11 章 その他利用方法

11-1. SSH でログイン

本装置の IP アドレスに対して、SSH クライアントソフトウェア(Teraterm や putty 等)を用いて操作します。出荷時の IP アドレス・パスワード情報は、「1-2. 出荷時設定情報」を参照ください。

なお出荷時設定では、サービスネットワークからの SSH は無効に設定されています。

11-2. シリアルコンソールでログイン

本体のコンソールポートと操作用の PC と接続し、シリアルコンソールソフトウェア(Teraterm や putty 等)を用いて操作します。コンソール用変換アダプタは、PC 側のシリアルポートに直接接続します。PC 側にシリアルポートが無い場合は、別途 USB-シリアル変換アダプタ等をご用意ください。

接続パラメータ

ボーレート :	115,200 bps
データ :	8bit
パリティ :	なし
ストップビット :	1

落丁・乱丁の場合はお取替えいたします。

EasyBlocks ユーザーズガイド

ふらっとホーム株式会社

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-3 日本ビルディング九段別館 3F